

[TOP page](#)
[資料室](#)
[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [労働者福祉・共済](#) | [教育カリキュラム](#) | [労働者自主福祉運動のすすめ \(15\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[協同組合](#)
[労福協](#)
[労働金庫](#)
[全労済](#)
[県生協連](#)
[勤労者信用基金協会](#)
[年金福祉協会](#)
[福祉基金協会](#)
[ユニオントラベル](#)
[教育カリキュラム](#)

労働者自主福祉運動のすすめ (15)

全労済静岡県本部までの流れ

第1回生協設立小懇談会
「県評」「福対協」「労金」による懇談会が発足する 1956年11月

「静岡労済」設立総会
静岡市昭和町の旧労働会館にて職員1名で火災共済からスタート 1957年6月

厚生省から認可を受けて正式発足
許可基準「10000の壁」クリアできず、苦しいスタートを切る 1958年7月

鷹匠町の労働金庫本店2階の1室を借用し移転する
加入者1万6千人、加入口数5万口 1962年6月

静岡労済会館竣工
(1985年老朽化で県勤労者総合会館に県本部移転) 1966年1月

「全労済静岡県本部」として新たなスタート・・・中央労済統合総会
(1993年全労済静岡県本部会館(現鷹匠)竣工) 1969年3月

[🔍 キーワード検索はこちら](#)

「福対協」第1段階の「物資斡旋事業」は、静岡県からの補助金30万円も得て、1953年より労金利用を条件にした自転車の斡旋販売からスタートし、大成功を収めます。

1956年11月「第1回生協設立小懇談会」が、県評・福対協・労金から選出された委員によって開催されます。

その議論をもととして中央の動きを見極めながら、翌年1月開催の「第2回生協設立小懇談会」において、火災共済・労働質庫・物資斡旋の事業は各々別人格の組織によって運営する方針を決定しました。

「労働質庫事業」は1957年3月「静岡市労働者生活協同組合」を設立し、11月より「静岡労働質庫事業」からスタートさせました。

「火災共済事業」は同年2月「静岡県労働者共済生協設立懇談会」を開催し、共済生協の具体的な構想を固めました。

当面は火災共済事業に特化し、設立までの事務経費や事務責任者は福対協が負担することでスタートを切るというものです。

そして1957年6月、旧・労働会館(現静岡信用金庫)で「静岡県労働者共済生活協同組合(静岡労済)」創立総会が開催されました。

旧・労働会館の階段下の1室で、職員1名からのスタートでした。

創業から認可までの苦労も並大抵ではありませんでした。

開始時より認可の目標は、認可基準の1万1千名程度の員数基準にもおおよそ達してはじめていた。

開始時より入団体の目標として、認可基準の1万人までの取扱基準にもはたはた達しませんでした。それでも幾度かの折衝ののち、1958年7月によろしく厚生省の認可を得ることができました。県の承諾をもらうために、年内に基準に達しなければ取り消されても異議なしの筆を入れたことでした。

しかし1年経過しても加入者は僅か8千人にとどまり、「せっかく生み落としながら不義の子として、労働組合から育てられない、肥立ちの悪い栄養失調の捨て子労済ではないか」などといった嘆き節も聞こえたといいます。当時の記録がないのでその詳細はわかりませんが、共済の場合は全労済よりも早い段階から「単産共済」がスタートしていたことも影響していたのかもしれない。

しかし苦勞しながらも10年後には自前の建物を有するまでの発展を遂げていき、1969年には中央労済と統合し「静岡労済」は「全労済静岡県本部」として新たなスタートを切りました。

(つづく)

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録
お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.